

# 地区広報

# かいぞう

つながる前の線路。



見学会では、線路の上を歩きました。  
枕木は、コンクリートできていました。



階段は53段!



ゴム製の部品。



切替作業前の川原町駅。



平成26年10月24日の最終列車。  
ヘッドマークには、「LAST-RUN」の文字が。

わあ〜!  
すごい階段やなあ!

53段あります。  
エレベーターもありますので、ベビーカーや車椅子も、  
安心して利用いただけますよ。



ホームから遠くがよく見えて、  
眺めもええなあ。

線路の枕木は、コンクリート製なん?

はい。以前は碎石の道床に木製の枕木でした。  
今は、コンクリートになっています。  
「ゴムパッキン」がクッションの役割をする  
「弾性軌道」になっています。「ゴムパッキン」は、  
軌道の狂いが起こりにくくて、重量にも耐える  
ことができるうえ、騒音や振動も少ないんですよ。

地上7mほどありますので、3階建ての建物と同じくらい  
になりますね。西側の見晴らしは2年後に上り線が完成  
すると、下り線のホームからは見えにくくなりますね。

上り線は2年後に完成するんや。  
どんな風になるか、今から楽しみやなあ。



十年後、私たちの海蔵地区は…  
「海蔵地区都市計画マスタープラン」が策定  
され、概ね十年間の地域づくりの計画が発表に  
なりました。近鉄川原町駅周辺は、踏切のない  
安全安心なまちへ…。また、川原町駅前広場  
や公園の整備も予定されています。  
川原町駅は、四日市駅へ向かう下り線が高架  
に切り替わりました。秋に行われた見学会に参  
加した「おばちゃん探検隊」は、担当の方に、  
いろいろ聞いてきました。

# 海蔵地区都市計画マスタープラン

《四日市市都市計画マスタープラン 地域・地区別構想（海蔵地区）》

海蔵地区で策定した「海蔵地区まちづくり構想」を基礎として、市が策定しました。これからの10年間に、海蔵地区として必要な施策とまちづくりの方向性、それに関係する道路や河川等の整備事業などの取組み方針が掲げられています。その一部を紹介します。

市が「海蔵地区都市計画マスタープラン・まちづくり構想推進委員会」（略称「海蔵地区都市マスター委員会」）との協議の場を設けて、取り組みを進めていきます。事業によっては、県や鉄道事業者などの関係者との協議の場を設けます。

## 海蔵地区都市マスター委員会

海蔵地区まちづくり構想策定委員会の後を受けて、今年1月に発足しました。地区内6エリアブロックから選出された自治会長や各種団体の代表者等で構成しています。

通勤時間帯や小学生の登下校時に交通渋滞となる都市計画道路の赤堀山城線と阿倉川西富田線の交差点付近



《交差点の四差路化など、渋滞緩和に向けた取り組みの検討を行います。》  
【実施時期】地域や関係者とともに検討し、上期（5年）を目処に地域合意及び事業化を整理します。

地域にはいろいろな課題があるのだから、早く整備されるといいネ！



詳しい内容は、地区市民センターにある構想書や海蔵地区ホームページに掲載の構想書をご覧ください。

改札口とプラットホームとの間に階段がある近鉄阿倉川駅



《車椅子の人も利用しやすいバリアフリー化の実現に向けて取り組みます。》  
【実施時期】鉄道事業者との調整により、早期の事業化を目指します。

通勤時間帯をはじめ交通渋滞となりがちな野田二丁目東交差点



《渋滞緩和に向けた取り組みの検討を行います。》  
【実施時期】地域や関係者とともに検討し、上期（5年）を目処に地域合意及び事業化を整理します。

堀川流入口（3箇所）で分断された海蔵川緑地左岸



《一体的利用に向けた検討を行い、河川管理者との調整を図ります。》  
【実施時期】上期中（5年）に具体化を協議します。

【参考】四日市市の中の海蔵地区（平成27年1月1日現在）

	面積	世帯数	人口	人口密度	年少人口率 (0~14歳)	生産年齢人口率 (15~64歳)	老年人口率 (65歳以上)
海蔵地区	3.65 km <sup>2</sup>	5,650 世帯	13,737 人	3,763.6 人/km <sup>2</sup>	15.57%	62.94%	21.49%
全市	205.58 km <sup>2</sup>	132,196 世帯	312,688 人	1,521.0 人/km <sup>2</sup>	13.69%	62.22%	24.09%
市内24地区での順位	22位	10位	10位	3位	3位	9位	18位

三滝川ふるさとの川整備事業で整備計画がある三滝川新川（分派）



《海蔵川、堀川、野田川への影響の考慮を含め、地域と河川管理者等との意見交換の場づくりをします。》  
【実施時期】早期に実施します。



堀川流末の樋門



野田川流末の排水ポンプ場

# 防災・減災 いざという時 もしもの備えが…みんなの命を守る!

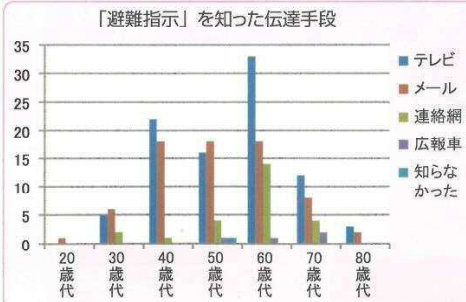


**風水害・土砂災害に備えて…早めの避難が大切です!**

「特別警報」とは通常の警報をはるかに超えた災害の危険性が近づいてきている場合に発表される情報です。「避難指示」とは人的被害が発生する可能性が非常に高い、または、人的被害が発生した場合、至急避難を完了するか、避難をしていない人は、最低限、命を守る行動を取る段階にある時、発令される情報です。8月9日、四日市市において「大雨特別警報」が発表され、「避難指示」を発令しました・・・その時、10名(6世帯)が避難所(海蔵小学校・山手中学校)で一夜をすごしました。



## アンケート結果 地区防災訓練(11月24日実施)の参加者150名の声



### 避難指示発令後何もなかったのはなぜ?

- ・高台に家があったから。
- ・連絡を待っていた。
- ・問題ないと思った。

### 避難指示発令後何をしたか?

**[注意] 避難指示が発令された時は川へは近づかない!!**

- ・三滝川の水位を見に行った。
- ・家族と連絡をとった。
- ・情報収集した。
- ・雨戸を閉めた。
- ・海蔵川の様子を見に行った。
- ・安否確認し指定場所に行った。
- ・すぐに避難所に行った。
- ・自治会に問い合わせた。
- ・避難所を開設した。

# 地区防災訓練 海蔵地区指定避難所開設・運営訓練



大規模災害で避難が必要な場合に備え、11月24日、地区の指定避難所である海蔵小学校を会場にして海蔵地区指定避難所開設・運営訓練が実施されました。

訓練は地区防災会が作成したマニュアルに基づき①避難所開設要員の集合②備品の準備③各施設の安全確認④各開設班による開設作業、の手順で行われました。開設した避難所への避難民受け入れと避難所施設の説明、非常食の試食など本番を想定した訓練が実施されました。

避難所開設要員179名(自治会、団体役員)、避難訓練参加者291名(自治会組長等)の皆さんが参加しました。27年度は山手中学校を会場に訓練が実施される予定です。

**避難所に到着**、**施設班**、**介護班**、**調達班**、**衛生班**、**調達班**

避難所受付、簡易担架、応急処置、施設班、更衣室、場所指定、避難所運営委員会本部、災害救援車両

組織図

海蔵地区災害対策本部 (本部付総務班) — 各避難所運営委員会

**情報班** 被害情報、安否確認、安心情報、広報等の被災者のための情報提供

**施設班** 避難者の受け入れ、場所の指定、施設スペースの確保、危険箇所の管理等

**調達班** 炊き出し等給食給水活動、救援物資の調達と配給、被災者のニーズ把握等

**介護班** 高齢者、負傷者、病弱者、乳幼児、障がい者等の要援助者のケア

**衛生班** トイレ、就寝場所、消毒、ゴミ処理等の衛生健康管理

**警備班** 危険箇所の点検、避難所施設内外の巡回警備、喫煙所などの設置・安全確保

**非常食準備**

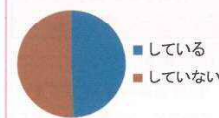
## アンケート結果

### 災害に備えての準備



- ・飲料水・非常食・スリッパ
- ・手袋・ラジオ・懐中電灯
- ・靴下・肌着・ティッシュ
- ・ボンベ・家具の固定

### 家族との話し合い



- ・連絡方法の確認
- ・集合場所の決定
- ・早めの避難
- ・自分の身は自分で守る

災害発生後72時間は被災者の救助・救急活動などの災害応急活動が優先されます。そのため、**各自3日分の水(1人1日3ℓ)と食糧等**の備えが必要です! 安否確認システムNTT 171で家族間の連絡を!

恒例の獅子舞

10月の秋晴れの心地よい日、御厨飽良河神社では恒例の獅子舞が始まりました。

早朝7時から各自治会を回って14時過ぎ、2回目の本殿での演奏開始です。ロドリを演じる子供が日の丸扇で獅子を誘導します。神社には続々と見物人が詰めかけ、笛や太鼓の雅楽演奏に合わせて舞う獅子や、ロドリの演技を約1時間ほど楽しみました。終盤「花の舞」の後には、無病息災を願って、頭を噛んでもらうために赤ちゃんや子供もやってきました。獅子の大きな口にバクリと噛まれてもみな平気で、見ていたこちらがぎょんとしました。思い起こせば、今年成人式を迎えたわが子が当時大泣きをして、獅子に抵抗していたのが懐しく浮かんできました。



獅子舞保存会 竹内政敏会長に聞きました

保存会は6歳から80歳まで総勢35名。練習期間は10月初旬から前日の最終練習足ざろえて約2週間ほど。「そんな短期間で音合わせなど大丈夫ですか?」と尋ねたところ、皆幼いころから演じているので大丈夫とのこと、さすがです。子供は小学校1年生から6年生まで7名。昨今の少子化や、親は参加させたいと望んでも子供たちは獅子が怖いからと来なかったり、青年は大学進学などで参加人数が減っているそうです。それでも、「ロドリを卒業した子供たちが残って保存会で頑張ってくれている。」と会長さんは誇らしげでした。



※西阿倉川という地域だからこそ、代々続いて守っている行事だなあと感じました。



ロドリは6年風君

練習は夜7時半から9時までで、楽しい。宿題もあるけど大丈夫?との問いには「大丈夫」と即答。衣装も板について堂々とした舞でした。今年で最後の演奏を終えて満足した表情で神社を後にしました。小学校2年の男児もロドリを演じる聞いてビックリです。教え上手な保存会の方がいて頼もしい未来の担い手が育っています。

【ミニコミ情報・・・ささらって何だろう??】



田楽や歌祭文などに使う楽器の一種。竹を細かく割って束ねたもの。(広辞苑)

「これが貴重。竹をいぶして、磨いて削る。長老自らの手作りで1か月はかかる。」とのこと。お手製のささらは使い込むほどツヤが出てロドリの小さな手の中で光っていました。



海蔵地区のまつり・伝統行事・・・  
守り継いで、親から子へ



復活しました!野田神社天神祭・行燈奉納

野田神社では、「天神祭」の行事として、行燈にて子どもたちの書画の奉納展示が行われていました。20年近く行事が途絶えていましたが、平成24年、奉賛会の皆様のご尽力で行燈も新調され復活しました、今年も40点ちかくの子供たちの作品が奉納されました。夜間には、行燈に火が入れられ、たくさんの人々が賑わいました。野田神社の祭神は、「健速須佐之男命(たてはやささのおのみこと)」、「菅原道真公」です。天神は菅原道真公の神号でもあり、毎年7月25日に全国的に行われる夏祭りです。子供たちの思いをのせて「絵や字がうまくなりますように・・・」との願いを込め書画が奉納されました。今後もまたその思いを大切に守り継がれることを願って。



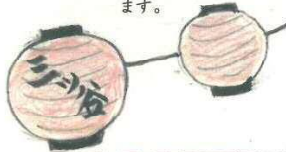
神明社夏祭り「山の神まつり」 斉行 (清水町子ども会育成者より)

毎年7月第一日曜日に永末神明社の獅子舞が行われます。今年7月6日の暑い日に、子供たち60名が順番に獅子の中へ入ってねり歩きました。父兄が神輿を乗せたりヤカーをひいて、神主さんや地区ごとの世話役さんと回ります。先頭は太鼓を担いで「獅子じゃ、神輿じゃ」と鳴らします。太鼓のかつき棒は、重く肩のしにかかっていますが、さすが、今年が最後の6年生、立派に二人でやり切りました。お見事!また、その夜は夏休み前に皆から募集した絵や文字が行燈になり、夏の夜の境内を照らします。ちなみに神明社は歯の神様だそうです。長年住んでいて初めて知りました!



海蔵神社の神輿 (阿倉川町子ども会育成者より)

海蔵神社の神輿は4基、万古、東阿倉川1区、2区、阿倉川各町で実施されています。8月から子供たちに神輿のポスターを依頼、9月には各町で神輿を組み立てて紅白布など飾りつけを行い、ポスターを掲示してよいよ本番の準備です。10月、お祭り当日は、地区代表が朝から神社でお祓いを受け、各町に戻り出発です。当日160軒から170軒を皆で交代しながら回ります。今年阿倉川YMCAのデイサービスで神輿の依頼を頂き、利用者さんの前で神輿を担ぎました。阿倉川町子ども会ではメインの行事なので育成会の役員・子どもたちが一丸となって臨みます。



三ツ谷盆踊り 三ツ谷納涼親睦大会

三ツ谷町の歴史ある盆踊り大会は、天候不順のため、残念ながら昨年は、初めて中止となりました。三ツ谷合同自治会はじめ奉賛会、老人会、育成会など約40名の役員でこの親睦大会を企画運営しています。例年大勢の人が参加して、当日は盆踊り、空くじなしの抽選会、お店など楽しい催しが目白押しとか。特に抽選会の特賞は豪華だそうですよ!各世帯から寄付を募り、抽選会や金券での買い物など聞くだけでも楽しい内容です。勿論盆踊りや太鼓の練習も必ず行います。子供たちが踊り上手のお祈りのあとから海蔵音頭や炭坑節を踊るのでしようか。お話を聞くうちに昔どの地区でもあった盆踊りは私の原風景となって心によみがえります。来年は是非、三ツ谷の納涼盆踊りに出かけてみたい・・・



# 密着取材 おばちゃま探検隊

## 川原町駅下り線切り替え工事

平成26年10月24日の深夜。

モコモコに着込んだ怪しいおばちゃま探検隊、阿倉川駅のホームに登場～！

四日市行き最終列車の先頭車両を写真に撮ってホクホクしながら乗り込むと、車内は工事関係者やカメラを抱えた人たちがいっぱい！

海蔵川を越えたあたりから、ビックリするくらい大勢の作業員さんが線路脇で待ち構え、とーっても明るい照明でヘルメットも輝いて見えました。

川原町駅の今まで使っていたホームに、最終列車が滑り込むと、一斉にフラッシュが光ってまるで芸能人の記者会見みたい！



線路の切り替え作業は、始発列車が走るまでの短い時間で終わらせなければなりませんから大変です。

川原町駅のホームに降りると、工事関係者の人達の緊張感が伝わってきました。

枕木は重機を使い、レールは大人数で力をあわせて持ち上げて運んだそうです。大量の碎石を敷き詰めるのも本当に大変な仕事だと思いました。

線路の切り替え作業が完了すると、午前5時20分ごろに「試運転列車」が到着。



切り替え後は安全に運行できるように、ありとあらゆる確認作業をしたそうです。

平成26年10月25日早朝。

おばちゃま探検隊、中川行き5時51分発始発列車に再登場。

先頭車両には、「FIRST-RUN」と書かれたヘッドマークが貼られていましたよ！

今回、最終列車と始発列車の両方に乗ってみて、本当にたくさんの人達のおかげで、安全に電車に乗れているんだなど実感しました。



川原町駅をふと見上げると、大きな仕事をやり遂げた人達の姿がホームにありました。みなさん本当にありがとうございました！

